

1. 件 名：日本原子力発電株式会社東海発電所、東海第二発電所及び日本原子力研究開発機構原子力科学研究所の原子力事業者防災業務計画の修正の検討について

2. 日 時：令和4年11月18日 9:30～10:25

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

澤村防災専門官、蔦澤防災専門職、本間防災専門職

(以下、テレビ会議システムによる出席)

日本原子力発電株式会社

発電管理室警備・防災グループマネージャー 他6名

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

原子力科学研究所 保安管理部 危機管理課 マネージャー 他6名

5. 要 旨

日本原子力発電株式会社及び日本原子力研究開発機構から、東海発電所、東海第二発電所及び原子力科学研究所の周辺監視区域の変更等に伴い原子力事業者防災業務計画の修正を検討していると、資料1及び資料2に基づき説明があった。

原子力規制庁から、日本原子力発電株式会社に対し、放水口モニタ移設についての修正手続の遅れについて、経緯、再発防止を資料に記載するよう伝えた。

日本原子力発電株式会社から、本日の面談を踏まえて対応するとの回答があった。

原子力規制庁から、両事業者に対し、原子力事業者防災業務計画の修正を行う場合は法令に基づく手続きを適切に実施するよう伝えた。

6. その他

配布資料

資料1：東海発電所・東海第二発電所 原子力事業者防災業務計画修正に係る主な修正点（日本原子力発電株式会社）

資料2：原子力科学研究所原子力事業者防災業務計画の修正（案）について（日本原子力研究開発機構）